

題 名： COVID-19感染患者治療の疫学的調査（多施設共同研究）

研究者名： 救急センター 菊地 斉

上記の申請を審査の結果、下記のとおり判定した。

記

判 定	承認	条件付承認	変更の勧告	不承認	非該当
条件又は変更あるいは不承認の理由					

以上

倫 理 審 査 申 請 書

令和 3年 9月 1日

相模原協同病院 倫理委員会

委員長 杉本 篤彦 殿

申請者 所属・職名 救急センター副センター長

氏名 菊地 斉 印

※受付番号 _____

1 審査対象	実施計画	出版公表計画
2 課題名	COVID-19感染患者治療の疫学的調査 (多施設共同研究)	
3 主任研究者名	広島大学 大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗	
4 分担研究者名	京都府立医科大学附属病院 集中治療部 部長/病院教授 橋本悟	
5 研究等の概要	本研究は、本邦における COVID-19 感染症における臨床データ・治療内容を後方視的に解析し、病態解明・治療法開発の一助とすることを目的として、国内外に学会発表、論文投稿を行う。また、広島大学主導の多施設共同研究に参加して全国の多施設でのデータを収集して行い、本邦独自のデータとして国内外に学会発表、論文投稿の協力を行う。	
6 研究等の対象及び実施場所	研究対象：COVID19 実施場所：ICU・HCU・感染症棟など	

- 注意事項
- 1 審査対象欄は非該当部分を消してください。
 - 2 審査対象となる実施計画書、又は出版公表計画書のコピーを添付して下さい。
 - 3 ※は記入しないで下さい。

7 研究等における医学倫理的配慮について

(I～IIIは必ず記入のこと)

I 研究等の対象とする個人の人権擁護

研究対象者：年齢は問わず、性別男女問わず、研究実施期間を含め、2020年1月1日から2026年12月31日の6年間に当院で検出されたCOVID-19による感染患者を対象とする。

観察研究のため該当なし

II 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

観察研究であり患者に負担ならびにリスクが生じることは考えにくいため該当無し。本研究は観察研究であり本研究対象患者に対する利益は生じない。

III 研究等によって生ずる個人への

不利益並びに危険性と医学上の貢献の予測

観察研究であり患者に負担ならびにリスクが生じることは考えにくいため該当無し。本研究は観察研究であり本研究対象患者に対する利益は生じない。

IV その他